

## アメリカの新学期です

ニューヨーク学用品支援受付中。

子どもたちを学校に通わせるためのブックバッグ、聖書、子ども向けデボーションブック付き！



BACK  
TO  
SCHOOL  
DRIVE



新しいバッグと聖書やクリスチャンブックによって、イエス様のために学び、成長し、輝く存在となることができるように、新年度のためのお手伝いをお願いします！

私たちの関わる子どもたちは、常に敵の標的になっています。自分たちが選んだわけでもない戦いに、日々巻き込まれているのです。

だからこそ、イエス様によって、未来と希望があることを知ることが、これまで以上に重要なのです。世界で、自分の周りで何が起ころうとも、神様は彼らの人生のご計画をお持ちであることを知る必要があります！ここニューヨークでは、8月中旬に学校の新年度が始まります。私たちは、メトロの子どもたちが未来へ踏み出すために、学校に通って必要なものを身に着けられるようにあなたの助けを必要としています。

あなたのような思いやりのある友人からのブックバッグのプレゼントは、子どもたちが学びに必要なものを準備して、心構えを整え、自信を持つのに役立ちます。

そして今年も、必要な学用品に加え、年齢に応じた聖書や子ども向けデボーションブックをすべてのブックバッグに入れていきます！

5月から再び円安が進み、皆様へのご負担が大きくなってしまい心苦しいのですが、できる範囲で構いませんので、ご支援をよろしくお願いいたします。

詳細は同封の申込用紙をご確認ください。締切は7月10日(月)です。

スマホでのお申込はこちらから⇒  
PCからは、

<https://metroworldchild.jp/bookbag/>



**アメリカ学用品支援**  
お申し込み締め切りは7月10日(月)

**今月の引き落とし日！**  
6月16日(金)です。

今月号の目次

- P2…子どもの証し／各国の状況
- P3…フィリピン・現地ツアーレポート
- P4…日本事務所からの重要なお知らせ



# 日曜学校は人生を変えるか？

本人の話を動画でご覧  
いただけます。→



この子たちは絶望しているのではなく、ただ希望がないのです



私たちは、多くの人が絶望的と呼ぶような場所で活動をしています。しかし、私はずっと昔に、この子たちは絶望しているのではなく、ただ希望が持てないのだということを学びました。イエス様は、彼らの希望であり、そうなることを望んでおられます。メトロの日曜学校は、彼らにイエス様を伝える場です。

この青年は、まだ幼かった5歳の時にイエス様を信じたのです！毎週、メトロの建物の室内で開催される日曜学校に参加させるためにバスで迎えに行き、平日はメトロのスタッフが、彼と家族を熱心に訪問することで、彼の人生の軌道は完全に変わりました。2018年にイザヤ青年は、児童教育の学位を取得し、現在は、ニューヨークの公立学校で校長として働いています！

あなたの愛と寛大さは、彼のような子どもたちの人生に直接影響を与えるのです。幼少期、彼は日曜学校に忠実に通い、その後、年少たちを連れてくるのを手伝うようになりました。彼は「ギャングの生活には関わりたくなかった」と振り返ります。「私の周りには貧困やシェルター(貧困者用の公団)があり、人生にそれ以上のものを求めない人ばかりでしたが、メトロと担当キャプテンだったプリンセスは、私を妥協させませんでした」。

あなたや私のような普通のクリスチャンが、絶望的に見える子どもの人生に変化をもたらすことを選択したときに、このようなことが起きるのです！

旧約聖書のネヘミヤ書の3章を見ると、1節ごとに「そして、彼らの次に修理したのは…」と始まり、修理を担当した人の名前や家族が記されています。今、私の友人であるあなたは、まさにその一人なのです。

あなたは祈りと支援によって、私やメトロチームと共に、子どもたちに手を差し伸べ、再建し、文字通り永遠に人生を変えることができますのです！

**命を救う働きを実現してくださっている、すべてのスポンサーの皆さん、ありがとうございます！**

## 常にスポンサー募集中です。

### メトロの働きは、世代を超え、世界中で拡大し続けています

先月もお伝えしましたように、メトロの働きは世界各地で急速に拡大しています。特にアフリカ各国では、急速に拠点が増えています。急速な拠点の増加に対処するためにスタッフの養成が急務となり、ケニア事務所では、近隣諸国からスタッフになることを志願した人首に対して、スタッフ養成のためのインターンシップが始まりました。

フィリピンでは、20年以上にわたる働きと地域教会との連携、多忙な中でも続けてきた若者たちの養成が実を結び始め、次を担う若い世代が育ち始めています。スラム出身の子どもたちが、その生き方から脱却し、成長して自分の育った地域の子どものために活動を行っているのです。スラムの子どもを受け入れてくれる地域教会を探す活動も続けています。子どもとその家族が毎週教会に通い、教会の人々との関わりの中でよい影響を受け、スラムの人々の考え方から脱却するのは、人生を変革する上で大きな助けとなります。

また、インドやネパールなど迫害を恐れて隠れて活動しなければならなかったような地域でも、忍耐強い働き者の継続によって、徐々に状況が変化し始めています。キリスト教国でない厳しい国教の決まりがある国々にも、メトロの教会学校のプログラムが、学校の授業の一部として採用され始めています。

メトロの活動は20ヶ国以上になり、教会学校に参加する子どもの数は、毎週31万7千人を超えています。神様は、さらにチャンスを与え続けています。

そして同時に、支援を必要とする地域も子どもたちも増え続けています。ご支援に賛同してくださる方が起こされるようにお祈りとお協力をお願いいたします。



メトロでは、常時スポンサーを募集しています。支援にご興味のある方がいらっしゃいましたら、左のQRコードまたは、以下のアドレスからお申し込みをお願いします。 <https://metroworldchild.jp/apply-for-sponsor/>



# 現地視察ツアー再開しました！②

長期のコロナによる制限が緩和されてきましたので、4月中旬にフィリピンツアーを4年ぶりに再開しました。今月も現地ツアーに、参加された方々のご感想をお届けします。

## 宮城幸司様

### 今後の課題も発見

私は、フィリピンの7歳の男の子をメトロ・ワールドを通じて支援しています。その子に直接会うために、フィリピンツアーに参加しました。

印象に残っているのは、次の2点です。

#### 1. 貧困脱出の連鎖

今回、非常に貧しいスラム街で行われている日曜学校を見学しました。そこで子供たちに指導している若者は、以前はこの日曜学校で教育を受けたり、食べ物の配給を受けていた側の人間でした。彼らが、大きく成長し、次は貧しい子供を支援する側になっていることに驚きました。これは貧困脱出の連鎖と言えます。このような連鎖がこれからも続いていくように、引き続き支援していきたいです。



#### 2. 貧困と食事

貧しい家庭の食事は、ご飯が主食でおかずが醤油などの調味料だと聞きました。だから、栄養失調が起こります。野菜は相対的に価格が高く口にすることができないそうです。ですから、野菜を配給しても、まず母親がその調理方法が分からず、受け取らない方もいると聞きました。



健康的に暮らしていくためには、さらにもう一歩手厚い支援が必要だと感じました。

私は、農業による自給自足を広める活動をしています。このフィリピンにおいても、金銭的な支援に加えて、食物栽培の指導という支援も必要だと感じました。

## 平澤一浩様

### 同行した娘に変化が

私は3年前、2020年春のインターンとしてメトロフィリピンに滞在していました。その時はコロナの影響により、マニラを中心にロックダウンされていき、道端教会学校の継続が困難のまま、ただただ時間が経過し帰国することになりま

した。その時はこんなに長い期間影響があるとは思っていませんでした。帰国する時に私は、自分の子どもにもこの神様の働きを見せたいと思っていました。言葉や写真などでは伝わらない部分、行ってみなければわからないことを実際に感じてほしいと思っていました。

今回、メトロのご案内の中にツアーの掲載があり、さっそく申し込み、その思いが実現することになりました。娘といっしょに訪問活動や道端教会学校に行くと、同年代の子どもたちに囲まれて現地の言葉で話しかけられていました。言葉が通じない中でも案内チラシを配ったり、いっしょに遊んだりと自分にできることはないかと探している姿を見て連れてきてよかったと思いました。



スモキーマウンテンでの訪問活動

日本に戻り、娘に変化を感じました。それは神様に礼拝する姿勢です。神様と自分という1対1の関係性に気がついたように思います。その中で自分の進む道を見つけれ、歩めるようにと祈っているところです。『一人ひとり、いやいやながらでなく、強いられてでもなく、心で決めたとおりにしなさい。神は、喜んで与える人を愛して下さるので。』(Ⅱコリント 9:7) 我が家も一致して“次”の行動へ向けて出発していきます。



現地の子どもたちに話しかけられているところ

最後になりますが、今回、万代先生をはじめツアーメンバーにも恵まれて、楽しい時間を過ごさせて頂きました。この場を通して改めて感謝いたします。ハレルヤ！



道端教会学校の見学中

# 日本事務所からの重要なお知らせとお願い

## 支援は続いています！

メトロ・ワールド・チャイルドでは、ウクライナ市民支援もトルコ・シリア地震の復興支援も継続中です。支援献金も引き続き受け付けていますので、よろしくお願ひいたします。

どのような支援も、現地に直接の知り合いや支援者、メトロのスタッフがいないければ、実現することは困難です。世界的な大きな団体が資金を集めても、実際に現地に出かけて支援することは困難な場合がほとんどで、メトロがその働きを担うこともあるのです。

いつもそこにて活動を続けているメトロならではの機動力と人間関係が、最終的に支援を必要としている人々に届くために必要なのです。

## メトロの研修制度

メトロのNY本部とフィリピン、ケニアの事務所では、各国から集まってくる、教会奉仕者を目指す人々に、教会学校のスタッフとしての学びと現場の活動に直接関わって学ぶことのできるインターンシップ制度を準備しています。

コロナ禍で日本からの出入国が難しく、3年以上ご案内しておりませんでした。海外では制限が大幅に緩和されていますので、すでに本格的に再開されています。

今回の受付は、今年の初夏と来年の春になります。ご興味のある方は、ビザの取得も必要になりますので、早めに日本事務所にお問い合わせください。英語での学びとなりますので、申込やオンライン面接も全て英語で行われます。

## ！ 違いを生み出す月曜日！

メトロの働きは各国で急激に拡大し、サポートの必要な子どもの数は、飛躍的に増えています。新規スポンサーを常時募集していますので、よろしくお願ひいたします。コロナや戦争で、貧困地域の状況は悪化し続けており、ケニアでは、以前から食事をまともに食べることができない子どもがたくさんいましたが、今はさらに深刻な状況です。現地を訪問した若いスタッフは、その悲惨さを目撃して、「違いを生み出す月曜日」のキャンペーンを提案。一人でも多くの子どものスポンサーを見つけようと努力しています。どうぞ、身近な方々にメトロをご紹介ください。

メトロ紹介&申込サイト⇒

<https://metroworldchild.jp/metrogenerallp/>



## 日本事務所よりごあいさつ！

全国的に、例年より随分早く梅雨入りしましたが、皆様お元気でしょうか？ 台風や豪雨の情報を聞くたびに、皆様のお住まいの地域が守られるようにお祈りしています。

万一ご支援が必要な事態が生じたときは、どうぞお知らせください。キリスト災害支援ネットワークの働きにも関わっていますので、ご支援できることがあると思います。

ビル先生は、相変わらずウクライナなどの支援に関わって、飛び回っていますし、世界各地での説教や講演なども精力的に続けています。アフリカや中南米、インドネシア地域では、すさまじい勢いでメトロの働きが拡大しています。子どもたちとビル先生やスタッフの健康と安全が守られ、働きが続けられるように、皆様の背後でのお祈りをよろしくお願ひいたします。

皆様の上にも、豊かな恵みが注がれますようにお祈り申し上げます。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんたい えいじ)



# メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座5-14-6

橋ビルII 7階 TFC内

電話 03-6264-7370 (松山事務所 089-992-9020)

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

URL <https://metroworldchild.jp/>



すべてのお振り込みは、下記宛にお願ひいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン